

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

- 1 . 講 師 大阪歯科大学客員教授、
歯科技工士専門学校・歯科衛生士専門学校長
末瀬 一彦 殿
- 2 . 演 題 歯科医療が変わる！CAD/CAM システムの現状と展望
- 3 . 日 時 平成 2 3 年 5 月 2 6 日(木)
1 7 時 0 0 分 ~ 1 8 時 3 0 分
- 4 . 場 所 歯科棟南(歯科外来事務棟) 4 階 特別講堂
- 5 . 内 容

デジタルデンティストリーのイノベーションは確実に歯科診療に押し寄せ、歯科医療を大きく変えようとしている。とりわけ CAD/CAM システムの利点は、歯科技工における製作の複雑性が緩和され、クリーンに生産性が向上し、品質の安定した補綴装置を国民に提供できることである。さらにネットワークを通して情報の保存、伝達が可能であるためグローバルに製作エリアが広がることである。これまで世界では 200 種類を超す CAD/CAM システムが開発されてきたが、現在では、スキャナーやデジタイザーにおけるソフトの開発、切削材料や CAM の製作工程に関わる変革が注目されている。さらに口腔内カメラの開発が進み、まさに作業模型（石膏）が必要でない歯科技工へと進むことも予想される。約 50 年前に精密鑄造が歯科技工に導入され、歯科医療に多大な貢献をもたらしたが、今度は「CAD/CAM システム」をはじめとするデジタルデンティストリーによって歯科医療が大きな変革を遂げようとしている。

そこで、CAD/CAM システムの現状と展望についてまとめさせていただく。

連絡先 摂食機能保存学分野 三浦宏之（岡田大蔵）（内線 5521）